

# 北見市における景気動向調査報告書

< 第 IV 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

## I. 調 査 要 領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成19年4月2日

(2) 調査対象期間 平成19年1月～3月期実績および平成19年4月～6月期見通しについて調査した。

### 2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

### 3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	25社	83.3%
建設業	30社	26社	86.7%
卸売業	30社	22社	73.3%
小売業	35社	24社	68.6%
サービス業	25社	17社	68.0%
合計	150社	114社	76.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

## Ⅱ．概 況

### 《 全 体 の 動 き 》

平成18年度第Ⅳ四半期<1月～3月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」15.8、「悪化企業」42.1、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△26.3となっています。

このD・I値を前期調査<18年度第Ⅲ四半期>と比較してみると前回△30.7→今回△26.3と4.4ポイント好転、僅かであるが改善傾向を示しています。また前年同期比(△36.9)との比較でも、10.6ポイントの好転しており改善の方向に向かいつつあります。

今回の業況を業種別で見ると製造業D・I値△20.0、建設業D・I値△15.5、卸売業D・I値△18.2、小売業D・I値△41.6、サービス業D・I値△41.1となっており、前年同期調査と比較すると建設業が36.7、製造業が35.6ポイントの大幅な改善傾向が見られるが、小売業は3.0、サービス業は3.6、卸売業は13.7ポイントの悪化傾向を示しており、一部大幅な改善傾向は見られるもののまだ予断を許さない状況にあります。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」7.0%、「悪化企業」42.1%でD・I値△35.1%と、前年同期見通し(△40.6)に比べ5.5ポイントの改善傾向、前期調査(△38.4)との比較でも3.3ポイントの改善傾向を示しており、少し好転の傾向が見えつつあるもののまだ数値は高く予断は許さない来期見通しとなっています。

### 《 業 種 別 の 動 き 》

#### 1) 製 造 業

##### 生産高

前年比で「増加企業」16.0%、「減少企業」36.0%、D・I値△20.0と前年同期に比べ27.1ポイントの大幅な好転、前期調査との比較では6.4ポイント悪化を示しておりますが、前年同期比では4期連続で好転傾向を示しています。

##### 採 算

前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」45.8%、D・I値△29.1と前年同期に比べ41.5ポイントの大幅な改善、前期調査との比較でも11.9ポイントの好転を示しています。

##### 来期見通し

業況D・I値△40.0、生産高D・I値△44.0、資金繰りD・I値△28.0と、前年同期に比べ業況D・I値は若干の改善傾向を示していますが、生産高・資金繰りD・I値はほぼ横ばいの傾向を示しています。また、前期調査との比較では全てのD・I値が10～26ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、前回調査の改善傾向から再び厳しさのある見通しとなっています。

#### 2) 建 設 業

##### 完成工事高

前年比で「増加企業」30.8%、「減少企業」46.1%、

D・I値△15.3と前年同期に比べ19.6ポイントの大幅な改善、前期調査との比較では19.5ポイントの大幅な悪化傾向を示しておりますが、前年同期比では3期連続で好転傾向を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」23.1%、「悪化企業」42.3%  
D・I値△19.2と前年同期に比べ12.6ポイントの改善、前期調査との比較でも2.6ポイントの悪化傾向を示しておりますが、前年同期比では2期連続で好転傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△38.5、完成工事高D・I値△52.0、資金繰りD・I値△27.0と、前年同期に比べ全てのD・I値が改善傾向を示し、特に業況D・I値は31.2ポイントの高い数値を示しています。また、前期調査との比較では完成工事高は悪化傾向、他のD・I値は改善傾向を示しておりますが、まだ予断を許さない来期見通しとなっています。

### 3) 卸 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」27.2%「減少企業」36.4%、D・I値△9.2と前年同期に比べ4.5ポイントの悪化傾向を示しています。また、前期調査との比較では9.0ポイント好転しており、前年同期比では悪化しているものの数値は低く、比較的明るい状況を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」0.0%、「悪化企業」45.5%、D・I値△45.5と前年同期に比べ40.9ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。また、前期調査との比較でも13.6ポイントの悪化傾向を示しており、採算については引き続き厳しい状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△9.1、売上高D・I値△9.1、資金繰りD・I値△4.5と前年同期に比べ全てのD・I値は大幅な改善傾向を示しています。前期調査との比較でも同様に明るい見通しとなっています。

### 4) 小 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」0.0%「減少企業」58.3%、D・I値△58.3と前年同期と比べて35.1ポイントの大幅な悪化、前期調査との比較でも23.3ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、再び厳しい状況となっています。

採 算

前年比で「好転企業」0.0%「悪化企業」54.2%、D・I値△54.2と前年同期と比べて31.0ポイントの大幅な悪化、前期調査との比較でも12.1ポイントの悪化を示しており、売上高同様厳しい状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△29.2、売上高D・I値△37.5、資金

繰りD・I値△29.2と前年同期と比べ全てのD・I値は悪化傾向を示し、特に業況D・I値は20.9ポイントと高い数値を示しています。前期調査との比較では全てのD・I値は17~26ポイントの大幅な改善傾向を示していますが、まだ数値は高く、依然として予断を許さない来期見通しとなっています。

## 5) サービス業

### 売上高

前年比で「増加企業」11.8%、「減少企業」35.3%、D・I値△41.1と前年同期と比べ2.8ポイントの改善傾向を示しています。前期調査との比較でも8.9ポイント好転傾向を示していますが、数値はまだ高く依然として厳しい状況にあります。

### 採算

前年比で「好転企業」17.6%、「悪化企業」58.9%、D・I値△41.3と前年同期と比べ2.6ポイントの改善傾向を示しており、前期調査との比較でも21.2ポイントの大幅な改善をしており、若干明るさが見えつつありますが売上高同様依然として数値は高く、厳しい状況にあります。

### 来期見通し

業況D・I値△64.7、売上高D・I値△58.8、資金繰りD・I値△47.1と前年同期と比べD・I値はすべて悪化傾向を示し、特に業況D・I値は27.3ポイント、売上高D・I値は27.7ポイントと大幅な数値を示しています。前期調査との比較でも3~9ポイントの悪化傾向を示しており、引き続き大変厳しい来期見通しとなっています。

## 業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増	人 材 不 足
建 設 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
卸 売 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	資 金 調 達 困 難
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足
サービ業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
合 計	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。